

第 8 3 1 回

定例教育委員会会議録

日 時 平成 2 9 年 5 月 2 9 日（月） 1 3 : 3 0 ~

場 所 市役所第 1 会議室

益田市教育委員会

第 8 3 1 回 教育委員会定例会

招集年月日 平成 2 9 年 5 月 2 9 日（月） 1 3 時 3 0 分～

招 集 場 所 市役所第 1 会議室

議 事 日 程

第 1 会議録の承認

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 1 4 号 益田市社会教育委員の委嘱について

議第 1 5 号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

報第 2 1 号 益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について

報第 2 2 号 益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会委員の委嘱について

報第 2 3 号 医光寺中門の国登録有形文化財（建造物）の登録について

報第 2 4 号 三者共同研究に係る企画展「石見の戦国武将」の開催について

第 4 その他

(1) 協議

- ・平成 2 9 年度（平成 2 8 年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について

(2) 情報提供

- ・平成 2 9 年度 6 月補正予算について
- ・平成 2 9 年度益田市の教育の概要の作成について
- ・史跡益田氏城館跡整備基本計画の策定について
- ・益田市立馬事公苑の今後のあり方について
- ・平成 2 9 年 6 月学校給食献立について
- ・平成 2 9 年 5 月後援・共催事業について
- ・平成 2 9 年 5 月寄附・寄贈について

(3) その他

- ・その他

出席者

教育委員会

教 育 長	柳 井 秀 雄
教 育 委 員	舟 橋 道 恵
教 育 委 員	水 上 芳 枝
教 育 委 員	渡 辺 隆
教 育 委 員	中 野 純

事務局職員

教 育 部 長	藤 井 寿 朗
ひとづくり推進監	大 畑 伸 幸
教 育 総 務 課 長	山 本 裕 士
学校再編・整備推進室長	田 原 啓 文
学 校 教 育 課 長	武 内 白
学校教育課参事	城 市 博 明
社会教育課長補佐	伊 藤 功 二
人権・同和教育推進室長	田 中 智
文 化 財 課 長	木 原 光
美 都 分 室 主 幹	塩 満 保
匹 見 分 室 長	藤 井 文 江
教育総務課長補佐	斎 藤 一 臣
教育総務課主事	岩 本 純 平

柳井教育長 それではただいまから第８３１回定例教育委員会を開催いたします。
 よろしく願いいたします。

第１ 会議録の承認

柳井教育長 まず初めに会議録の承認ということですが、先ほど承認いただきました。
 ありがとうございます。

第２ 教育長報告

柳井教育長 それでは続いて教育長報告ですが、お手元の資料のとおりとなっております。
 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
 よろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

柳井教育長 それでは議題に入ります前に、事前にはお知らせしておりませんでした
 が、教育長職務代理についてということで、今お手元に資料をお配り
 しましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第２項
 に、教育長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめその指名
 する委員がその職務を行うということになっております。今回は教育長
 が欠けた事例ではありませんが、教育長が交代したということで、新た
 に職務代理者を決めなければいけないということで、そのままこれまで
 どおり舟橋委員さんにやっていただくということで、指名をさせていただきます。
 よろしく願いいたします。

第３ 議題

○議第１４号 益田市社会教育委員の委嘱について

柳井教育長 それでは議題のほうに入りたいと思います。まずは議第１４号の益田
 市社会教育委員の委嘱について説明をお願いいたします。

伊藤補佐 社会教育委員がこのたび変更となりました。都茂公民館の河野館長が
 退任され、新たに小野公民館の堀部館長を委嘱ということで考えており
 ます。よろしく願いいたします。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
 よろしいでしょうか。それではこの件について賛成の方は挙手をお願い
 いたします。

教育委員 ＝全員承認＝

○議第１５号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

柳井教育長 続きまして、議第１５号の益田市教育委員会感謝状の贈呈について説
 明をお願いいたします。

斎藤補佐 お手元の資料をご覧ください。益田市の奨学金のほうに寄附を頂いております方の中でも特に高額の寄附を頂いた方でございます。昨年8月に徳栄建設災害防止協議会地域創造委員会の委員長であります安田徳兆様から100万円、それから今年1月に薄原町の青木儀様からも100万円ということでそれぞれ頂いております。まず徳栄建設さんでございしますが、平成26年から毎年奨学金に100万円を頂いておりまして、今年で3回目ということでございます。それから青木さんでございしますが、青木さんのお兄さんがお亡くなりになったということで、そのお孫さんが奨学金を受けていたということもあって、学生のために活用してほしいというところでの寄附ということでございます。それでこの感謝状の贈呈につきましては、昨年12月に益田市教育委員会感謝状贈呈要綱というものを作っております。これに伴いまして、感謝状の被贈呈者は教育委員会の選考を経て決定ということになっておりますので、今回提案させていただいております。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

渡辺委員 この感謝状はいつ渡されるんですか。

斎藤補佐 今回承認を得た後に早い段階でお渡しをさせていただこうと思っております。ただ、こういう形での感謝状は今回が初めてですので、また確認しながら対応させていただこうと思います。

水上委員 これはいつまでさかのぼってされるんでしょうか。寄附日を見ると昨年8月ということなのですが、何か規定があるんですか。

斎藤補佐 元々そういうものがなかったというところなのですが、特に徳栄さんからは26年度から頂いていたということで、やはり何らかの形でお返ししたほうがいいということもありまして、昨年12月のところで要綱を作ったということで、まずは昨年28年度に頂いた方についての感謝状ということで考えております。

柳井教育長 ほかによろしいでしょうか。それではこの件について賛成の方は挙手をお願いいたします。

教育委員 =全員承認=

○報第21号 益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について

柳井教育長 続きまして、報第21号の益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について説明をお願いいたします。

山本課長 資料8ページに外部評価委員の名簿を掲載しております。まずこの名簿の3段目、原真帆子氏でございます。前委員でいらっしゃいました出雲佳代子氏の辞任に伴いまして、後任ということで委嘱をいたしました。それから4人目の西村満大氏でございます。これは1名の増員ということで委嘱しております。これまで3名体制でやってきておりましたけれ

ども、今回新たに1名追加ということで、これは前々から議会のほうから
もご指摘がございまして、いわゆる教育の専門家以外の方の目線も必
要ではないかということで、増員ということでさせていただいておりま
す。要綱のほうには「5名以内」とうたわれておりますので、4名で評
価していただくということでございます。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

舟橋委員 原さんは元教育関係の方なんですか。

山本課長 元県の教育委員です。

舟橋委員 元教育委員であって、教育関係のことをしておられる方ではないん
ですよね。男女の比から言えば2人ずつになってとても良いかなと思いま
す。

柳井教育長 原さんは県教育委員会の委員ではあったけども、いろんな地域活動と
かそういったことをされておられる方ということで、特別に教育関係者
ということではないということです。ほかにはよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○報第22号 益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会委員の委嘱について

柳井教育長 続きまして、報第22号の益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員
会委員の委嘱について説明をお願いいたします。

木原課長 文化財課では平成29年度から益田市全域を対象にして、全ての時代、
全ての種類の文化財を総合的に把握した上で、それをまちづくりに結び
付けるための構想、歴史文化基本構想というものの策定に取り組んでま
いります。その検討は益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会で行
いますけども、この委員の委嘱につきましては先月の定例教育委員会で
15名のうち14名の委嘱についてご報告させていただきました。今回
はそのうちの更に1名、石丸賢さん、中国新聞の論説委員の方ですけど
も、この方を1名追加して委員に委嘱するということの報告でございま
す。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

舟橋委員 石丸さんという方は一新聞社の方ということですが、ほかに他紙との
関係というのは無いんですか。

木原課長 この方については中国新聞社のほうでは「中国山地」という中国山地
に係るルポルタージュを新聞に連載して、1967年に書籍化されてい
ます。その約20年後に「新中国山地」というやはり同じようなレポ
ートを追跡して行われておりまして、それを踏まえて更に2004年には
「中国山地 明日へのシナリオ」という3つのルポルタージュを重ねて
おられまして、そういう主題に関わっていただいた方から広く中山間の
視点をもってこの構想の策定に関わっていただきたいということで委嘱

をさせていただいております。地元の山陰中央新報社のほうからも代表を出していただいて、この検討委員ではなくて、更に並列の懇話会的な会議をもう一つ設置することにしておりますので、そちらに入っていたくという方向で確定をしております。

舟橋委員 この方は特に益田の歴史的なことについての興味関心とかっていうところはどうかでしょうか。

木原課長 実際に初期の段階から関わっておられたのは、島津さんというかなり年配の方で、今回は委員をお受けいただけなかったんですけども、この石丸さんはその下で最新の取材に川本のほうで携わられまして、推薦を頂いたという方でございます。

舟橋委員 しっかりまた益田のほうもやっていただけるんじゃないかなと期待しております。

柳井教育長 ほかによろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○報第23号 医光寺中門の国登録有形文化財（建造物）の登録について

柳井教育長 続きまして、報第23号の医光寺中門の国登録有形文化財（建造物）の登録について説明をお願いいたします。

木原課長 江戸時代の後期に建てられました医光寺の中門について、昨年11月に国の文化審議会でも国登録有形文化財の登録について答申がされました。5月2日にそれが官報告示によりまして正式に決定したという報告でございます。これに伴いまして、資料にもあります登録証、それからそれに併せて青銅製のプレートが教育委員会のほうに文化庁から届いておりまして、これについて報道にも案内をして、6月20日に教育長から登録証とプレートをお渡しいただくと、そのことをもって広く市民の方にも知っていただくという形をとりたいというふうに考えているところで

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

中野委員 登録有形文化財の保存等に関する部分なんですけど、今他県・他市で三次元化してデータ処理をして、それを残すというようなことをしておられるようです。例えば熊本では熊本城が重要文化財ですので、何かあったときに復元しやすいようにということで、そういったことを実際にされておられるようです。益田市においてもこういった重要文化財についてはそういった保管などもしておられるかどうかは分らないんですが、そういった最先端の技術もありますので、データとしても保存しながら管理するという方法も検討していただけたらと思います。

木原課長 三次元測量というのは最近では例えば古墳の測量ではそういう技術を取り入れて実施しておりますけども、それに加えて最近では画像を併せ

て、いろんな分かりやすい写真を上下左右あらゆる方向から見せるというような技術もあって、それ自体が正確な座標であるとか高さであるとか、そういうデータもそこに与えられるというような技術もあって、最近島根県内で取り組まれているのが、まだ少ないとは思いますが、ある業者さんから無償でデモンストレーションなり実際には七尾城のふもとの桜谷とか中須東原遺跡のそばにある福王寺の石造物等を実際に撮影していただいて、先週いろんな加工画像を見せていただいたところです。これは無償で試験的に行ったわけですが、そういうことをしながらできれば事業化をしながら少しずつそういう形でもデータを残していきたいというふうに考えております。

柳井教育長 ほかにはよろしいでしょうか。
教育委員 ＝全員了承＝

○報第24号 三者共同研究に係る企画展「石見の戦国武将」の開催について

柳井教育長 続きまして、報第24号の三者共同研究に係る企画展「石見の戦国武将」の開催について説明をお願いいたします。

木原課長 平成28年度から3年間、県と市と東京大学史料編纂所で中世益田に関する共同研究を行ってまいりました。今年平成29年度にはこの成果を含めて広く中世の益田あるいは石見を分かりやすく公開するための企画展を開催するということになっております。本日グラントワが作成しましたカラー版の資料もお配りしておりますけども、名称は「石見の戦国武将―戦乱と交易の中世―」ということでございます。9月から11月にかけてグラントワの石見美術館で有料で開催されます。益田市と益田市教育委員会が主催ということで加わっております。この展覧会に展示される史料は、97点が予定されておりますけども、そのうち国宝が1点、重要文化財が5点、東京大学史料編纂所の益田家文書が25点、そして益田市が所有しているもの、それから益田市内の神社・寺院が所有しているものが合わせて35点がこの中で展示されるということになっています。大規模で充実した益田の歴史文化に関する展覧会になりますので、全国へ発信して周辺や県内、全国からの交流人口の拡大に是非ともつなげたいというふうに考えております。また、同時に今回は特に市民の皆さんに多くお出でいただいて、地域の歴史文化に関する関心を持っていただくためのきっかけになればいいなというふうに期待をしているところです。それからもちろん児童生徒にもたくさんお出でいただきたいということで、バスでの移動に対する助成でありますとか、あるいは実際に見学する際のワークシートの作成でありますとか、そういうことを進めながら校長会のほうにもご案内をして是非とも多くの子どもさんに来ていただきたいということをお知らせしていこうと思っております。

ます。県が設定しております目標は45日間で8,000人でございますけれども、担当課としましてはキリの良いもう1桁上のところまで何とか持ち上げたいというふうに思っているところです。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

舟橋委員 児童生徒にバス等で補助をされるということでもとても良いことだと思います。それに加えてワークシートを作成されるということで、どういうふうに作られるかは分かりませんが、子どもの実態もよく分かってワークシートに乗りやすい形にしていってほしいなということがあります。できれば社会科の教員に少し集まっていいただいて検討するなり配って意見を聞くなりして、何か知恵をもらうのもいいかなというふうに思います。そのことによって教員自身もまた興味関心を示すということもありますし、それから校内でもほかの人たちの意見も聞いて取りまとめるというような形をとったりして、少しややこしいかもしれませんが、それがやはり違う形での参加型の広めるものになるんじゃないかなと思います。

大畑推進監 今社会教育課が持っております事業のほうで歴史文化研究センターの中司さんと一緒になって作っておりますが、ふるさと教育に関しても社会科部会の方たちをお願いしている経緯もございますので、併せて協議をしていただくようにしていきたいと思います。ただ、実態としてはなかなか小学校の社会科で昔のようにかなり専門的にやっている方が減っているという現状がありますので、また会長さんと相談しながら考えていきたいと思います。もう一点中司さんと話をしているのは、是非タブレットでもできるような形でやったらどうだろうかということも今検討してもらっていますので、タブレットでできるということは将来ホームページなんかにも載せられるということで、情報発信につながるツールになるようにということで今考えているところです。

舟橋委員 社会科の専門の方とおっしゃいましたが、小学校なんかはむしろ専門でないほうが子ども目線でもよく分かりやすくなるので、是非とも取り入れていただければと思います。

柳井教育長 ほかにはよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

第4 その他

(1) 協議

○平成29年度（平成28年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について

柳井教育長 それではその他の協議に移りますが、まずは平成29年度（平成28年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について説明

をお願いいたします。

山本課長

事前に資料のほうを送らせていただいておりますけれども、毎年教育委員会の事務事業に関する点検・評価ということで、外部評価等も行っております。その関係について事前にお配りした資料に基づいて説明をさせていただきます。この点検・評価でございますが、ご承知のとおり地方教育行政の組織及び運営に関する法律というものがございまして、それに規定がございます。毎年教育委員会は事務事業を評価した上で議会に報告するということが規定されておりました、今年度もこれまでと同様に前年度の点検・評価を行う必要がございます。お送りした資料でございますが、これの作成につきましてはそれぞれ各担当課で点検・評価シートを作成しまして、それに基づいて事務局としての自己評価を行いました。本日は教育委員さん方からのご意見を伺いながら教育委員会としての自己評価を作り上げていきたいということで、これをもって外部評価委員さんに評価をお願いしていくということでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは資料2ページでございます。点検及び評価の対象ということでございますが、そこに述べておりますように評価の対象を益田市「教育に関する大綱」の重点項目、4つございますが、この4項目を推進していくための事務事業について平成28年度の実績に基づいてそれぞれ点検・評価を行うということにしております。その下でございますが、点検及び評価の方法でございます。この教育に関する大綱及び平成28年度教育行政の取り組み方針等に掲げた重点項目を推進するというので、この中では社会教育推進計画あるいは益田市教育ビジョンに掲げております成果目標とか重点項目に示した事務事業の進捗状況等を総括して事務事業別点検・評価シートに課題や今後の取組の方向性を示しているということでございます。評価につきましてはそこに示しておりますけれども、総合評価と事業評価項目ということで妥当性であるとか公平性、有効性など5つの項目によって評価を行っております。総合評価につきましてはそこに示しているとおりでございますが、AからCまでの判定で示しております。また、事業別の評価項目でございますけれども、4ページをご覧ください。そこに評価の観点ということで、総合評価も含めて5項目の観点により判定するというのでお示しさせていただきます。次に評価対象事務事業ということですが、先ほども言いましたように教育に関する大綱あるいは28年度教育行政の取り組み方針、それから社会教育推進計画、教育ビジョン、こういった計画の成果目標あるいは重点目標などをそれぞれ取組方針ということで数項目ずつ定めております。さらにその方針に沿って評価項目を設けて評価対象としているということです。具体的なところで申し上げますと、16ページをご覧ください。これは各課か

ら提出していただいたものですが、上段に重点項目の一つの「学力向上を支えるための施策の推進」というものがあります。これを推進するためにその下に5つの方針を示しております。その方針に沿って評価項目を数点設けて評価対象としているということで、例えば5つの方針のうち最初に「教職員の授業力の向上」ということがございますけれども、この方針については目標・実績・達成度という3つの項目を設けて評価をしております。そうしてそれぞれ作成していただいた評価シートを基に評価判定をしているということです。その集計というものが5ページと6ページに評価判定の集計ということでお示しをしております。それぞれの評価項目ごとにコメントを付け加えております。次に8ページをご覧ください。ここでは重点項目別評価・考察ということで述べております。各課から出されました点検・評価シートの中で評価項目として設定したねらい、それから取り組んだ結果どうであったか、また、残された課題は何があったのか、解決に当たっては今後どういった方針を持っていくのか、そういったことを8ページから12ページまでのところに重点項目ごとに述べております。次に13ページでございますけれども、先ほど言いましたように外部評価委員さんから最終的に意見を頂くということでございます。その次の14ページにつきましては、総括ということで、外部評価委員会での意見を踏まえて平成29年度点検・評価の全体的な取りまとめをするということにしています。最後に15ページ以降に資料ということで、各課から作成いただきました点検シートを付けておりまして、それから26ページから30ページにかけては教育委員会の活動状況を載せております。それから31ページ以降には教育に関する大綱、社会教育推進計画、教育ビジョンを参考資料ということで付けております。以上簡単に説明させていただきましたが、29年度点検・評価をこういった形で外部評価委員会のほうに提出していきたいというふうに思っております。また、今後のスケジュールについてでございますけれども、外部評価委員会を2回開催する予定にしております。第1回目を7月上旬、第2回目を下旬に行いまして、8月に意見書を頂くという流れで進めさせていただきたいというふうに思っております。

柳井教育長
舟橋委員

この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
6ページのところで、例えば有効性の表にある数字は何を意味するのでしょうか。

山本課長

4ページを見ていただくと、上段のところに4つの重点項目を掲げておりますけれども、それぞれの重点項目の下に、例えば1番の学力向上を支えるための施策の推進については下に5つの方針を示しております。その数をもって、例えば総合評価のところで言いますと、学力向上につ

いては5つの方針全てがA評価になっています。教育と子育て支援の一体化については4つの方針のうちA評価が2つ、B評価が1つ、C評価が1つということになっております。B評価のところに米印で取り組み方針の6番と示しておりますのは、4ページの6番の教育と子育ての安心地域づくりの実施というものがB評価であったということです。

舟橋委員 ぱっと見て分かりにくく感じましたので、誰にでも分かるように工夫していただけたらと思います。

渡辺委員 教育委員会がやってきている教育行政というもののの中には生涯教育という広い視点があるんですが、ここにある点検・評価については教育が子どもを育てるというところにシフトされていて、全体的な教育ではないというふうに思うんですが、こういう形というのは文部科学省が示してきているんですか。

山本課長 評価項目についてはこちらのほうに任されております。評価の大きい項目としては教育に関する大綱の4項目を基に定めています。

渡辺委員 教育大綱というのは益田市全体のことを言っているんですよね。教育委員会が教育行政として進めている生涯学習というのは生まれてから死ぬまでの幅広い教育として私は捉えています。ここにある評価というのは限られているんです。これでいいのかなということを私は思いまして、今すごく公民館活動でも批判があるんです。最近は高齢者学級もなければ女性学級もない、PTAの個々の団体としての教育はあるけれども、教育委員会主導の教育はしていないという状況にかなり偏ってきているんです。そうした全体的なことを捉えないで、今回の評価についても限られた視点でしか見てないということに懸念があるんです。益田市民一人一人を主役にするような、一人一人を大事にして、生まれてから死ぬまでずっと学習していくというような形を作っていくことが教育委員会の仕事だと思います。町によっては生涯学習のまちづくりというようなテーマを掲げながら進めている市町村もたくさんあるんですけども、益田市はそうしたことをしなかったのかもしれないけれども、やっぱり死ぬまで学び続けるというスタイルを作っていけないといけないと思います。そういう視点が限られているということは直していけないといけないと思いますし、金がないからできないというものでもないですし、金がなくてもできることはたくさんあるんです。そういうような形の中で、全ての人をフォローしていけば女性の活動も活発になるし、高齢者のグループも活発になってきます。地域づくりもどんどん前に進んでいこうという意識づくりということもできてくると思います。そういう広い視点を持って益田市の教育を推進してほしいと思いますが、そうした視点がこの点検・評価の中で見えないんです。

山本課長 確かにおっしゃるところはありますけども、先ほども言いましたよう

に教育に関する大綱、それから毎年度教育長が述べられます教育行政の取り組み方針、それから社会教育推進計画や益田市教育ビジョン、そういったものにある重点項目に示された事業について取り組んできたというところでは、おっしゃるとおり全体的な部分で欠けたところもあると思いますので、その辺についても精査していく必要があると思っております。ただ、これは28年度分ということでございますので、29年度以降の外部評価、特に評価項目につきましてはそういったご意見も参考にしながら項目の設定を検討していきたいというふうに思っております。既に29年度もスタートしておりますので、次回6月定例教育委員会においては29年度点検・評価の項目についてもお示しさせていただきたいと思っております。

柳井教育長 幅広くある教育についてこれには全て網羅的に評価項目として設定されてはいないけれども、昨年度の評価項目については特に教育に関する大綱の4項目で重点的にやっておりますので、渡辺委員さんがおっしゃられたことは29年度の中に生かしていきたいと思っております。

中野委員 16ページから24ページにかけてなんですが、達成度ということでパーセンテージが示されている部分があります。特に力を入れられたであろうものについては達成度が100%を超えるものもあったりとか、少し力不足を感じさせられるような部分についてはパーセンテージが上がってなかったりというところがあるんだと思います。そこについて検証されて、また今年度の取組という部分でおそらく重点的な部分であったりとかそうでなかったりというような判断をされるんだと思いますが、そうはいってもやはりパーセンテージが上がってないところ、例えば24ページのカタリ場実施校が32校に対して6校だったりとか、22ページのふるさと教育実施状況のデータ更新が小学校12校中2校だったりとか、少し上がってなかった部分が気になる場所なんです。その辺りはまた力を入れていくとかそういった方針があればお聞かせいただければと思います。

大畑推進監 ふるさと教育につきましてはデータベース化ができたということで、更新作業がうまくいっていませんでした。昨年度ふるさと教育のデータベースの中で特に力を入れていきたいことを決めましたので、今年度はそこを重点的に改善するというのを今計画しておりますので、今年度は全ての12中学校区で更にデータ更新する手続の準備をしているところです。カタリ場につきましては未来を担うひとづくりの3年間で達成する目標を掲げておりますので、初年度が6校、今年度が概ね7割の学校でしていただけるように話が進んでおりますので、3年目来年度には全て100%になるようにということで随時やっております。あまり目標を掲げると学校側も今年はいいいんだという気持ちになりますので、絶

えず最初から100%ということではちょっと無理な設定ではあるんですが、全部の学校でできるようにしたいという3年間の目標を掲げているということで、初年度はそういった形になっております。

中野委員 目標に対して実績が多い部分というのがありますが、この辺りは目標値を上げてみたりということもお考えなんではないでしょうか。例えば16ページの教職員対象の研修会の実施回数というところで、年2回の予定が7回になっていまして、350%の数値があったりとか、それから家庭学習の充実という部分も啓発資料の配布ということで達成度が700%という非常に大きい数値が出ているんですが、その辺りはいかがでしょうか。

山本課長 目標に対して達成度が倍以上になっているというような状況もございますけども、これにつきましても目標設定がどうだったのかということも含めて見直しが必要であるというふうに思いますし、そういった形で29年度については目標設定していくということになろうかと思います。

舟橋委員 16ページの点検・評価シートでパーセント表示だけでなく、何校とか何人という具体的な数も入れたほうが良いと思います。それから回数という目標自体が実態が分からないということで、実態からかけ離れたものにならないように、数字で表すのは大事なんですけど、数字だけに頼るような状況にならないような項目の設け方ももう少し検討していく必要があると思います。

城市参事 17ページの家庭学習資料の啓発資料の配布というのが700%ということで、先ほど中野委員さんからもありましたが、何をもって700%なのかということが分かるようにということで捉えてよろしいでしょうか。

舟橋委員 小学3年生の全保護者へ配布するというので、配布できたということとは分かるんですが、最初から人数は分かっているんですから、100%配布できたというのが一番良い状況であると思いますし、700%というのは予想外の状況があったということになると思いますけれども、これは何があったから予想外の状況になったのか、たくさん配る必要があったのか、そこら辺りも分かるようになればこういう努力もしているんだということが伝わってきますので、そういうことが伝わっていくような評価方法なり反省点を表現できればいいなというふうに思います。加えてこの目標もなぜ小学3年生なのかということも疑問に思いました。家庭学習の啓発というのは1年生からするべきだと思います。読書でも何でもいいですので、要は家庭で座って学習するという習慣づけが非常に大事であると思いますし、それを通して親子のコミュニケーションをとったりだとか、いろんな影響があると思いますが、1年生の時からそういう力が付いていればかなり変わってくると思います。3年生になる

ともう自分の考えを持っていますから、反抗期になりますのでなかなか難しいところもあると思います。ですので、できるだけ早い段階でされたほうがいいと思います。それから「早寝・早起き・朝ごはん」というのも保護者さんに入学式の時に言うというのも大事なことで、終わった後に言ってもあまり意味がありませんので、本当にタイミングといえますか、一つの節目を大事にするという意味でもすごく大事なことだと思います。

水上委員 先ほど渡辺委員が言われた社会教育の設定はもう変えられないんですか。例えばその項目を増やすとか、上のところに社会教育推進計画という言葉もちゃんと入っているわけですから、ここの項目を今は4つまでにしてありますけども、5番を作ってそれを評価していただくとか、そういうことはもうできないんですか。

山本課長 28年度につきましては既に外部評価委員の方々にこういった評価項目でやりますということを見えていただいております。この4つの項目に基づいてやっていきますということを見えていただいております。

水上委員 昨年度も評価していただくには少し資料が少ないということもありましたし、益田在住の方は肌で感じたりご自身でリサーチすることもできますけども、志々田先生は昨年もしていただいているのできつといろいろな情報はお持ちだとは思いますが、よりの確で今後に生きる評価をしていただくためには、ただ紙面どおりの結果を頂いて、通り一遍の評価を頂くのではなくて、やっぱり今後の益田市に生きるような言葉を頂かないと外部評価を頂く意味がないと思うんです。その辺は提供する資料もそういったことをしっかり汲み取ったものにするというのは、私も毎年聞いていて来年以降はというような言葉を頂きますので、是非とも生かしていただきたいなと思います。

大畑推進監 渡辺委員が言われたことは実はもう作ってまして、公民館・スポーツ・体育・文化と作ってはいるんですが、今年度はそういう事情がありますので、また委員の皆さんにはうちの課で作った目標指数と併せてお配りできるようになっておりますので、またそれを見えていただいて、29年度の評価の目標設定に関することもお意見いただきながらできるように準備しております。

渡辺委員 先生は今時代もどんどん変わってきて大変なんですよ。先生は朝早くから夜遅くまで学校に勤務しておられるという実態をよく知っているんですが、そうした中でここにある2回教職員研修をやるという目標が7回できたというところは確かにすごいんですけども、いつどのようにしてやられたんですか。

城市参事 大半が夏休みです。講師の都合で夏休みでなかったものもありますけども、基本は夏休みを使って行います。

渡辺委員 そうして切磋琢磨して子どもたちの教育を良いものにしていこうと一生懸命になっておられるというのはよく分かるんです。本当によくやってもらっていると思っているんですが、これ以上学校の先生に負担をあまりかけないようにしてあげないといけないと思うんです。先生にも生活があるわけですから、もっと短時間でもいいから効率が良い方法を考えないと先生になる人がいなくなってしまうですよ。

大畑推進監 研修は校内でもやっておりますので、ここに見えない数字がたくさんあります。極端な例を出しますと、横浜市では全ての小中学校の先生方はブロックごととか教科ごとに毎週1回水曜日の放課後に集まって研修をすることを課しています。その先生に聞くとやっぱり過度な負担がかかっているようで、集めてやるのはかなり大変なんだろうと思います。ただ、校内でしっかり研修されておられますので、勉強する量が多い職種なんだろうとは思いますが。全体で集めるというのはうちも工夫してやっておりますので、その中での効果をどう見るかということと、学校の中での研修とリンクしているのだろうかとか、より合理的・効果的になるかという視点が次に出てくるんだろうと思います。もう一点には、結局出さないといけない文書をもう一回自分なりに一からパソコンで打ったりする教員もいるわけですから、働き方についての見直しはこれはただ忙しいという言葉では片付けられないようなものがあるんだろうなと思います。データの保存一つにしても前の文書がどこにあるんだろうかと探すようなことになること自体が無駄な時間であるということで、そのところはやはり教諭として絶対しなければならない仕事と事務的なことの線引きと、事務的なことをより効率化していくというシステムを工夫していくという時代になっているんだろうなと思います。

柳井教育長 今教員の多忙化について大変言われておりますが、そうした中で一方では、教員の指導力の向上も必要ということが言われています。この7回というのは多く門戸を開いて選択制で自分の興味があるものに行くような形で、全員が7回全てに参加するというようなものではないですね。

城市参事 同一人物が7回は出ていません。講師も違ったり内容も違ったりしますので、正確に集計はしていませんがそんなことはないと思います。

藤井部長 実施回数を増やすことによって参加がしやすくなるということで、2回だけだとなかなか出にくいこともありますので、そういう意味で回数を増やしているということです。

柳井教育長 教員の選択幅を広げてあげて、自分の日にちが許すときとか、自分の興味関心がある内容について参加できるように工夫して行っているということです。

渡辺委員 回数を増やしてあげれば先生も日程調整ができると思いますけども、

夏休みまでには日程表を作って、研修会があるからこの日は出勤とかっていうことで、休みがあるようでないという話も聞きます。今はほとんどの先生が匹見に泊まらずに益田から通っていて、朝7時過ぎにはどんどん上がっていて、最低1時間は早く来ていて、早い人は2時間くらい早く来ているんじゃないかなと思います。通勤時間が1時間あるんですから本当に大変だといつも思っておりますけども、前に匹見の中学校の学力について先生にどうなのかと聞いたんですけども、匹見の子どもは平均より良いということ言われたんです。なるほど先生の努力はやっぱりすごいというふうに思いました。子どもも少なければ少ないなりに一生懸命になって授業を受けるということもあるのかもしれないけども、やっぱり成績が上がれば親も先生も喜ぶますし、そういうふう子どもたちも先生も一体となって切磋琢磨しながら一歩でも二歩でも向上しようというふうに向上心を持ってくれるのが一番いいというふうに思います。やっぱりやる気にならないと覚えられませんから、テストもどんどんさせたほうがいいんです。そういうふうに繰り返し繰り返しすべきだと以前おられた永田委員さんも言っておられましたけども、そうしたことを考えればできるだけ学校の先生方に教育委員会としてできる限りの支援をしてあげる必要があるというふうに思います。あまり苦勞させないように、専念できるような体制づくりというものも必要だと思います。そうした面でこの点検・評価というものも活用していかないといけないと思います。

水上委員 今のことに関連するんですが、私がボランティアハウスに時々行っているんですが、先生方が子どもたちと遊ぶ姿というのは最近見ることはないんです。いつも先生方はとても忙しそうなんです。数年前だったらちょっと子どもが変わったことをしていると、上手になったなとか、もう一回やってみてとか、そういう声をかけられる先生のゆとりがあったんですけども、今は先生方はとても忙しそうで、先生最近どうですかとかそういう立ち話として声をかけられるような雰囲気でもなく、学校全体に忙しいという雰囲気が流れているんです。それって教育の現場としてどうなのかなと思いますので、世の中全体そうだと思うんですが、やっぱり教育というのは気持ちにゆとりがないといろんなことが育ってこないと思いますので、何かのときには子どもたちに声をかける時間も大事だという話をする場面があればしていただきたらと思います。

大畑推進監 以前私が校長をしていて思ったのは、年間の授業日数は決まっているんですが、夏休み・冬休み・春休みの日にちは法律によってきめられているわけではないんです。市町村が決めているものですので、例えば夏休みは半日全部出ようとか、要するに考え方で、夏休みにしっかり子どもたちが来ない時間をとることが先生方にとってプラスであるのならば、

そうでないところをどうするかというのを工夫しないといけないと、でもそこを短くするとこちらに余裕が生まれるんです。昔は土曜日があったわけですから、「35週×4」という数字が昔はあったのになくなっているということで、この丸一日分の余裕が全く消えているということです。今後は本当にそのところを考えて先生方にも選択いただかないといけない時期に来ているんだと思います。忙しい理由はやっぱり学校が稼働している日数が限られているからであるのならば、教育内容が増えたらどうするのかということも考えないといけないと、ただ、夏休みという時期がリフレッシュできるのならばどうするのかということも両方考える時期に来ているのかなと思います。私は当時職員にそれよりも1週間早く出るほうを選びますと言われたのでその時はそうしたんですけれども、経営する立場からすると全部出るという提案もできなくはないと、ただ、市町村の規則にのっとってはいるんですけども、これありきではなくて、そろそろこれもどうするかということを考えていかないと、今は5日間しか余裕がないですけど、そうしないといつまでもパズルの前提が変わらないままその中ですということが限界に来ているのならば、総合的に1年間を見ていくようなことも必要であると思っています。学校経営をする立場からすると授業実数の確保、それからゆとりある学校の教育活動の時間を確保するためにはどこかを変えていかないといけないと感じたところです。実際にはなかなか難しいだろうとは思いますが、そういう観点もあるだろうと思っています。

藤井部長

ちょうど来週から6月定例議会が始まりまして、早速議員さんから一般質問の通告がありまして、その中に教員の働き方についての質問がございました。今時点で教育委員会としてどういうことが言えるのかなというのはあるんですが、全国的にやはり教員の働き方のところがいろいろ記事等も出ています。今皆さんから頂きました意見も踏まえて教育委員会としてある程度の考え方を6月議会には示さないといけないと思っています。一朝一夕に変わるとは思っていないんですけども、やはり方向性というところは教育委員会としてしっかりと考えていかないといけないと思っています。そこには当然学校現場で働く先生方の意見もありますので、そちらのほうも聞きながらという形にはなろうかと思います。

舟橋委員

教員は指導するという立場と文書作成等で共通理解を図ったり報告したりいろんな仕事があるわけですが、例えば吉田小学校ではその辺りをシステム化しておられるんです。文書も全部残してあってどの職員でも見られて、それを使って出すとかっていうことをしているんですが、そういうシステムを全校でできるようにしておけばどこに変わっても非常に効率良く仕事ができると思いますが、そういうことはほかの学校でもしておられるんでしょうか。

城市参事
舟橋委員

ほとんどの学校でやっています。

それを聞いて安心しました。それが本当に全校に行きわたるべきだと思いますので、そういう働きかけをしていく必要があると思います。それから教職員や子どもたちは一日のほとんどの生活を学校でしていますが、6ページの教育大綱のところに「教育に関する大綱では次世代を担う子どもたちが安全で安心して学習できる教育環境の整備と益田で培った才能を益田で発揮できる環境の整備を前提としている」というふうにあります。その前提があまりにも生活しにくい状況になっている学校をこの間視察させていただきました。この前提が崩れているようではやはりいけないと思いますし、こうして評価するにも前提が評価されないということではいけないと思いますので、計画的に整備を、例えばトイレに換気扇を付けるとか、あるいは扇風機の台数を増やすとか、そういうお金をあまりかけなくても済む改善策がありますので、そういう環境の整備を前提とできるようにしっかりと予算立てあるいは計画性を持って学校に示していけば、先生方も安心感が湧くんです。教育委員会は私たちを応援してくれているんだという気持ちが少しでも伝わるような、予算の使い方をしていただきたいと思います。

柳井教育長

環境の整備について、やはり学校の現場を知り、それにどう対応できるかというところだと思いますので、計画的に考えていく必要があると思います。ほかにはよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

(2) 情報提供

○平成29年度6月補正予算について

柳井教育長 続いて情報提供に入りまして、平成29年度6月補正予算について説明をお願いいたします。

武内課長

複式学級の教育推進指定校事業というものを受けまして、桂平小学校で予算としては30万円なんですけど、10分の10補助事業ということで取組を進めていくこととなりました。それからもう一点、要保護児童の新入学支度金の額が改訂になったということで、準要保護児童の入学支度金の額につきましても今まで要保護児童に合わせて準要保護児童の額が支給されておりましたので、改訂をするということでございます。今まで小学校が20,470円でした。これが大幅に増額になりまして、単価改訂で40,600円、それから中学校が23,550円でしたが、改定後は47,400円ということです。合わせまして約400万円程度の額が増えるんですけども、これを今回の6月補正に上げていきたいと思っています。併せて支給時期につきましても前年度末に出すのが本当ではないかということを以前から議会でも指摘を受けているんですけども、

これにつきましてはその方向で今検討を進めております。他市の状況を見ましても今半分かくらいが前年度末までに出したいということでしたが、ただ、これにつきましては事務的な手続上の問題が少し残っておりまして、それをどのように解決するかということを見極めた上で9月あるいは12月議会を出していきたいというふうに思っております。その事務的なところというのは、ほとんどないとは思われますけども、転校等があった場合に返還が生じる場合が出てきますので、そこら辺をどのように解決していくかというのが一番のところですね。以上2つが学校教育課の関係で補正を出すということにしております。

大畑推進監　　続きまして社会教育課ですが、お手元の資料をご覧ください。未来を担うひとづくり計画ということで、益田のひとづくりの枠の中に入っている事業で、益田では未来の担い手をつくるという事業で県の補助金等を使って約1,500万円の事業を当初予定しておりました。その1,500万円の財源として、市の持ち出しのほうのお金につきましては人材育成基金というものから活用して当初やっておりました。年度を終えるにあたって特に高校、今までは益田高校が市内の高校に呼びかけて海外研修ということで非常に効果が高かったということで、是非これを益田の未来の担い手の高校時の4校でやる最後の事業として位置づけていったらどうだろうかという提案がございました。国の地方創生交付金という交付金事業を県と一緒に協働して申請したんですが、予定外に却下されたということでした。県と協議したところ、益田市が活用しようと思っていた県の教育の魅力化に関する事業の中で対応してもよろしいということが出ましたので、このたび人材育成基金を増額して担保することでプラス300万円でタイ王国に市内4校の高校生、大体十数名のところまで計画しておりますが、行ってしっかりと外国の高校生と英語でのプレゼンテーションの交流や、地元から進出している企業とか、大学等にも訪問しながら、グローバルな視点で英語を使いながら、外国から益田を見るリーダー養成ということで、帰った暁には中学生と高校生にその成果を伝えるという学校教育における最後のまとめの授業として位置づけるということで、このたび300万円の増額を県の事業を活用することとして6月補正に出したところです。

柳井教育長　　この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員　　＝全員了承＝

○平成29年度益田市の教育の概要の作成について

柳井教育長　　続きまして、平成29年度益田市の教育の概要の作成について説明をお願いいたします。

山本課長 資料は用意しておりませんが、毎年5月1日を基準日といたしまして「益田市の教育の概要」という資料集を作成しております。今年度分につきましては現在作成中ということでございまして、6月議会においては各議員さんにもお配りいたしますし、来月の定例教育委員会のところで皆さんのほうにもお配りしたいと考えております。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○史跡益田氏城館跡整備基本計画の策定について

柳井教育長 続きまして、史跡益田氏城館跡整備基本計画の策定について説明をお願いいたします。

木原課長 お手元の資料に沿って概略を説明させていただきます。いよいよこれから史跡益田氏城館跡整備基本計画の策定に入っていきますけども、検討委員につきましては4月の定例教育委員会でご報告をさせていただきます。これに文化庁と県が助言ということで同席をして、事務局には七尾城と三宅御土居跡があります益田地区の公民館長と魅力化応援隊員に加わっていただいて、こういう体制で進めていきたいというふうに考えております。さらに庁内の関係課との連携につきましては、資料にありますような連携体制を作って、素案作り、情報提供、会議前後の調整あるいは確認、そういったところで協力をいただいて、より良い計画にしていきたいというふうに考えております。年間スケジュールを簡単に載せておりますけども、29年度は会議を2回、30年度にも2回行いまして、計画としてまとめていきたいというふうに思っております。今年の第1回目の会議は7月末から8月初めのところで日程が確定しつつあるというところでございます。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○益田市立馬事公苑の今後のあり方について

柳井教育長 続きまして、益田市立馬事公苑の今後のあり方について説明をお願いいたします。

大畑推進監 益田市立馬事公苑は昭和57年の国体の際に県の馬術競技の引き受けということで県のほうで設置された施設です。後ほど益田乗馬クラブという元々は大きな組織でありましたが、そこが運営するということで益田市立馬事公苑ということで今まで存続してまいりました。実際の管理につきましては社会教育課のほうで体育施設ということで管理し、運営

につきましては業務委託で乗馬クラブのほうに、かなり減ってはいるんですが年間約190万円、実際に管理するお金としては200万円から210万円くらいのお金で運営しているという状態です。その乗馬クラブも非常に人が減ったりということで運営が困窮しているところです。しかしながら、10年ほど前から始めましたホースセラピー、特に特別支援の子どもたちがそこで馬に乗ったり触れ合ったりすることによる効果が非常に高く、毎年300名くらいの子どもたちが繰り返し参加することで非常に好評を得ているところです。ただ、乗馬に関しては非常に乗る人も少なくなって、乗馬クラブとしての運営が非常に厳しい状態になっているということです。そこで昨年度より近くの松ヶ丘病院に來られる患者さんたちが利用をしておられて非常に良かったということで、松ヶ丘として今まで持っていなかったA型事業所を是非そこで運営したいと、併せてその場に隣接させて10名程度のグループホームを建てて、そこで乗馬やホースセラピー等を中心としたA型の事業所として運営したいというご提案がございました。今庁内で検討したところ、民間の活力を活用するという点において非常に良いモデルになるんじゃないかということで、今検討を進めてくということが決まりましたのでご報告申し上げます。馬がそこにいて多くの市民が親しんだり、またホースセラピーが継続できるという機能をしっかり担保していただきながらどうしたらこの方向に向けていけるだろうかということを県も併せて協議を進めているという段階になっております。今年度国や県の補助金を使ってやりたいという松ヶ丘の意向に沿って県と今協議を進めているところでありますので、また市としてもどのように整備すべきかということを検討を始めたということですのでご報告申し上げます。

柳井教育長　この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員　＝全員了承＝

○平成29年6月学校給食献立について

柳井教育長　続きまして、平成29年6月学校給食献立について説明をお願いいたします。

山本課長　お手元のほうに6月の献立表と、それと併せて5月分の献立表を、前回お配りした時に裏面がまだ出来上がってなかったということで、今回一緒にお配りしております。6月の献立でございますが、献立のテーマを左上に示しておりますが、「よく噛んで食べよう・衛生に気を付けた食事をしよう」というテーマでございます。特に食中毒の予防ということで左下に「手をきれいに洗いましょう」とありますが、食中毒が起りやすい季節に入ったということで、そういった注意書を入れております。

それから今月の益田の食育の日は15日で、牛肉とエリンギのオイスター炒め等となっております。それから保小中連携献立は19日ということでござまして、新玉ねぎと新じゃがいもを使った味噌汁ということでございます。最後になりますけども、前回舟橋委員さんから「早寝・早起き・朝ごはん」という標語を入れたらどうかというアドバイスございました。非常にスペースが取りにくい状況ではありましたが「早寝・早起き・朝ごはん」とイラストで入れさせていただきました。今後もその標語については入れて作成していきたいと思っております。

柳井教育長 舟橋委員 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
入れていただき大変うれしく思います。とてもかわいらしくて良いと思います。

柳井教育長 ほかにはよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○平成29年5月後援・共催事業について

柳井教育長 続きまして、平成29年5月後援・共催事業について説明をお願いいたします。

斎藤補佐 お手元に資料をお配りしております。特段これまでと変わってのものはございませんが、またご覧いただけたらと思います。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○平成29年5月寄附・寄贈について

柳井教育長 続きまして、平成29年5月寄附・寄贈について説明をお願いいたします。

斎藤補佐 お手元の資料のとおりでございしますが、今月は2件ございまして、梅寿会様から奨学金のほうへご寄附を頂いております。それからこれは毎年行われているものでございしますが、益田あけぼのライオンズクラブ様から市内小中学校へ学校図書購入費のご寄附と、それから今回はそれに加えてソフトボール用具の購入費ということでも頂いております。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

(3) その他

柳井教育長 その他何かありましたらお願いいたします。

斎藤補佐 先般島根県市町村教育委員会連合会のほうから理事について推薦をしてほしいという依頼がありました。基本的に教育長が理事ということになるんですけども、それ以外の委員の方の中からもう1人出してほしいということでご案内が来ましたので、職務代理であります舟橋委員にお引き受けいただきましたので県のほうに報告させていただいております。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

柳井教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

舟橋委員 コミュニティ・スクールについていろいろこれから取り組まれると思いますけども、文科省がコミュニティ・スクールの推進員の派遣事業とその説明会を開催するということで募集しています。確か7月3日までが後期の締切で、前期の募集は終わっているようなんですが、是非こういうふうなものを使って、来ていただいて講演会をすれば多くの人がコミュニティ・スクールについて理解できますし、少しでも地盤を固めてこれを進められるようにしていただきたいと思います。益田市もこれから学校数もどうなるのかなというところとか基盤的な面で難しいところもありますので、やはりそういうふうな理解を少しでも深めていって、するしないは別にしても文科省が努力義務として何をもってこれを進めているのかということを知る機会として、せっかくのチャンスですので是非検討していただけたらと思います。

城市参事 既に手を挙げて申し込んでおります。

舟橋委員 どんどん先にやっておられてとてもうれしく思います。やっぱりこれからの教育委員会は前へ前へと先取りしていかないと、遅れたら後追いつるのは大変ですので、これからも是非ともよろしくお願いいたします。

柳井教育長 ほかによろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

柳井教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

大畑推進監 県立大学と共同研究をやっておりまして、昨年度やったふるさと教育の取りまとめをパンフレット形式で作成しておりますので、またお配りさせていただきたいと思います。全ての12の中学校区で保育園から中学校までの一つのテーマを決めました。そのテーマに沿って写真とどんな活動をしたのかというのを載せる予定です。そうするとふるさと教育も一つの中学校区で保育園から中学校までいつの段階でどんなことをやっているかという一つのモデルが完成するんだろうと思いますので、一定程度の学校における教育のモデルが示しできるとと思いますので、ま

た完成しましたらご紹介をさせていただきたいと思います。

柳井教育長 この件について何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

柳井教育長 次回の日程を決めたいと思います。次回は6月27日の10時から定
例教育委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは
以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

終了時間 15時30分